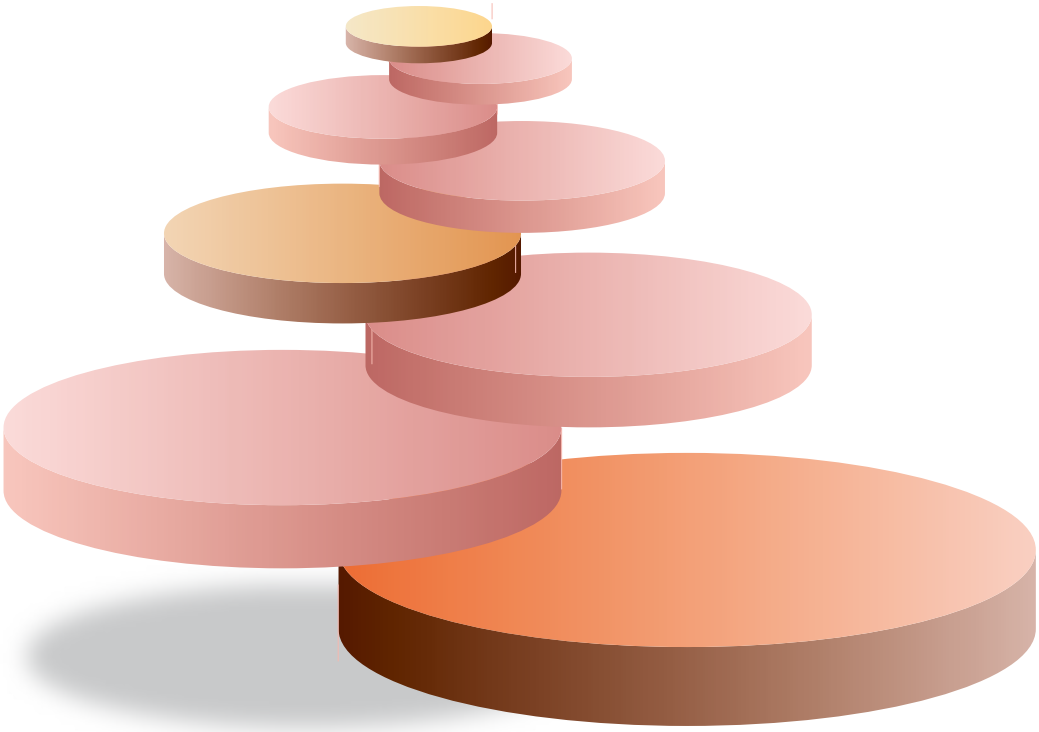
平成23年度

保育所運営の実態とあり方に関する調査研究報告書

－人材育成について－



社会福祉法人　日本保育協会

保育所運営の実態とあり方に関する調査研究報告書

― 人材育成について ―

平成23年度

社会福祉法人　日本保育協会

序

本報告書は、厚生労働省の補助事業として、日本保育協会が実施した「保育所運営の実態とあり方に関する調査研究」の結果をまとめたものです。

本調査研究事業は保育制度の改革と保育の現場における実情や保育園現場の対応状況及び運営の実態を把握し、今後の保育実践のあり方を探求しもって保育園運営の充実と向上に資することを目的とするものです。

今年度は保育所調査として全国の認可保育所の10分の１抽出による調査票調査を行いました。

調査としては保育人材育成にスポットをあてて、保育所長については専任・兼任の別、所長の資格について、運営・経営管理面の得意・不得意について、次世代保育所長の人材育成体制について、また、保育所長の処遇、社会的地位、保育所長の資質向上のために必要と思われる取り組みについて実施しました。

また、保育士についても継続勤務の意義、職員の研修や育成について調査を実施し、その結果を分析・考察いたしました。

本書を、今後の保育制度の運用や保育所の運営管理のあり方を考える上での参考としていただければ幸いです。

このたびの調査研究事業の実施にあたりましては、山縣文治委員長（大阪市立大学）、普光院亜紀委員（保育園を考える親の会）、志水武史委員（（株）日本総合研究所）、橋本聡子委員（こどもの城保育研究開発部）、伊澤昭治委員（五反田保育園）、太田嶋信之委員（竜南保育園）、青山弘忠委員（いそやま保育園）、宮原大地委員（愛児園湯田保育所）、篠原敬一委員（野方保育園）の各研究委員の方々にご尽力いただいたこと、また、調査対象保育所の皆様にご協力いただいたことに対しまして深甚の感謝の念を表するものであります。

平成24年３月

社会福祉法人　日本保育協会

保育所運営の実態とあり方に関する調査研究報告書
― 人材育成について ―
（平成23年度）

目　　次

序

Ⅰ．調査研究の目的及び方法…… 1

Ⅱ．調査結果の概要分析……志水武史委員…… 4

Ⅲ．各委員による保育人材育成について詳細分析及び考察

（1）次世代保育所長の人材育成体制 ……伊澤昭治委員……25

（2）保育所長の資質向上と処遇改善 ……太田嶋信之委員……30

（3）保育士が継続して働ける工夫についての考察 ……橋本聡子委員……36

（4）保育士の人材育成についての提言 ……普光院亜紀委員……43

（5）職員の養成および課題に関する自由記述 ……山縣文治委員……53

Ⅳ．これからの人材育成についての考察

（1）人材育成の本質 ……青山弘忠委員……57

（2）人材育成の課題 ……宮原大地委員……63

（3）保育所職員の処遇改善 ……篠原敬一委員……68

Ⅴ．総合的考察と展望 ……山縣文治委員……73

付　録

・調査票……84

・集計票……89